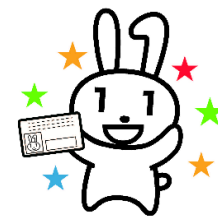


「療養費適正化研究会」



使ってみよう！
マイナ保険証



2024年3月21日 研究会活動計画発表会

1. 研究会の背景

「療養費適正化研究会」では、

- ①柔整療養費
- ②あはき療養費
- ③治療用装具

に関する不適切な請求に対し、審査・点検のノウハウを共有し、個々人のスキルアップを図ることに重点をおいて活動しています。

また、不正請求の根底にある様々な事象の要因の理解や不正等の解決を目的として健保連や学識経験者、日本臨床整形外科学会や施術者側や装具業者との意見交換・勉強会を継続的に行っています。

本年度も横のつながりが持てる機会の創出と熱い意見交換が出来る環境を模索しながら・・・研究会を手作りしていきたいと思えます。

2. 研究会の活動目的

- ① 不適切な請求は許さない！
- ② 医療費における「柔整療養費」の割合は少ない。
しかしながら、未だに不適切な請求事例も目立ち、健保組合が継続的な啓発活動をしていかないと、医療費は下がらない。保険者としてこの状況を改善したい。
- ③ 正しい療養費の知識を持って、加入員は健保を卒業し、国保・後期高齢者広域連合等地域健保へ進んでもらいたい。

これは“良質な医療を確保する、適切な保険料の活用”の推進する会の3本柱のうちの2本が包含されており、推進する会の主旨にそった内容といえます。

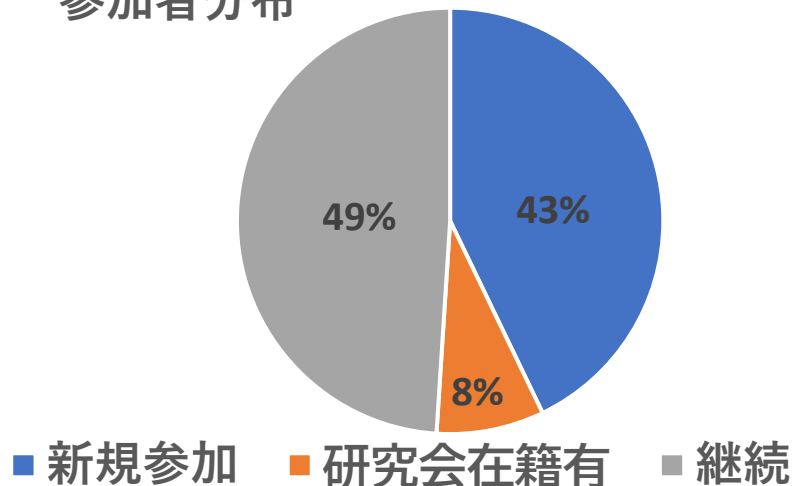
3. 2023年度療養費適正化研究会 参加健保

アクサ生命	ソニー	日本製鉄	富士通
アクセンチュア	太陽生命	日本ゼオン	三越伊勢丹
azbilグループ	DIC	日本発条	三菱電機
イオン	ディスコ	日本マクドナルド	山崎製パン
MSD	デンソー	ノバルティス	ヤマトグループ
花王	東京ガス	野村證券	ヤマハ
カシオ	東芝	博報堂	プレス工業
麒麟ビール	トピー	パナソニック	大塚製薬
栗田	トランス・コスモス	阪急阪神	41健保
小松製作所	ニコン	ファイザー	
CNCグループ	日本コロムビア	ボッシュ	

4. 2023年度研究会構成

参加健保 : 41健保組合
参加人数 : 47名

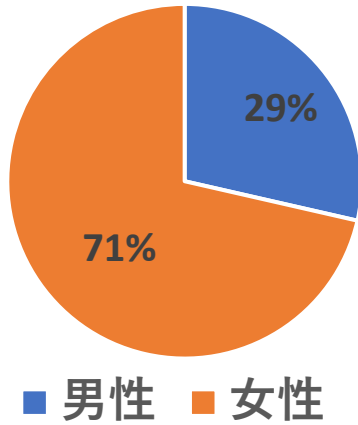
参加者分布



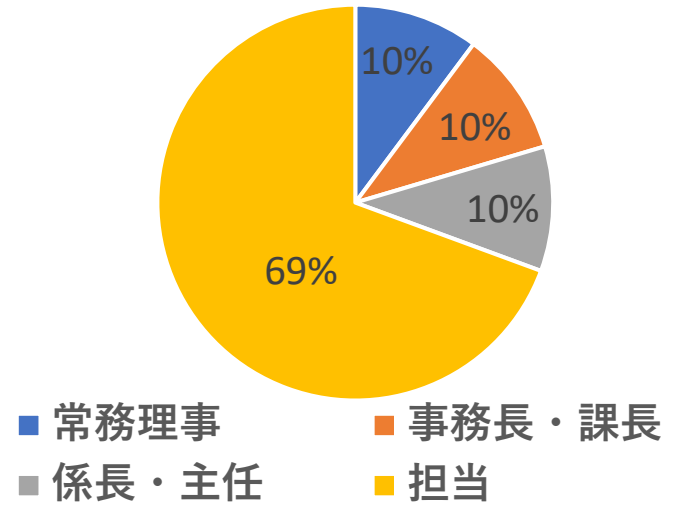
○途中参加(人事異動による交代) : 1名
○途中参加 : 1名 ○途中退会 : 1名

担 当	健 保 名
担当理事	BIJ
リーダー	トピー
サブリーダー	azbilグループ
運営委員	日本マクドナルド
	日本コロムビア
	阪急阪神グループ
	山崎製パン
	野村證券
	小松製作所
	太陽生命
	日本発条
	トランス・コスモス
	栗田
	東京ガス

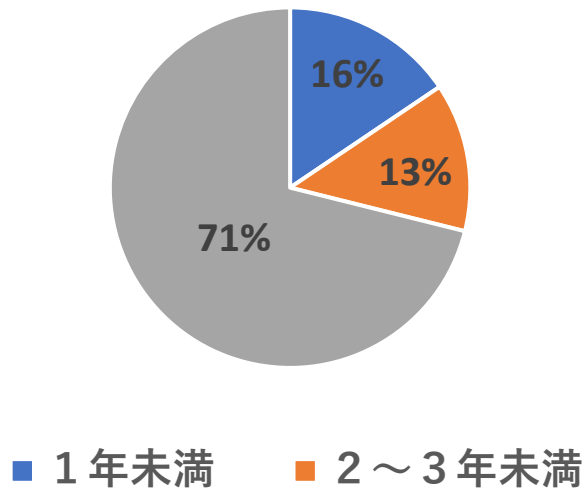
参加者分布 男女比



参加者分布 役職別



参加者分布 経験年数



5. 研究会への参加理由(研究会開始時の調査)

なぜ研究会(療養費適正化研究会)に参加されましたか？	20
① 柔整の申請に対する審査・基礎知識レベル向上のため	16
② あはきの申請に対する審査・基礎知識レベル向上のため	15
③ 治療用装具申請に対する審査・基礎知識レベル向上のため	21
④ ①～③の深い知見を身につけるため	9
⑤ ①～③の審査(再審査)請求事例等を把握したいため	9
⑥ 不正請求を減らしたいため	17
⑦ 他の健保の審査に対する対応状況把握のため	18
⑧ 他の健保の悩みや事例等情報を入手したいため	19
⑨ 不支給事例の判断基準・方法等を学びたいため	6
⑩ 上司に研究会に参加するよう言われたから	17
⑪ 情報交換できる仲間・横のつながりを作りたいため	7
⑫ 前任が異動し、療養費の担当になったため	6
⑬ 前年度も参加していたので(継続参加)	4
⑭ その他	

6. 2023年度の活動報告

① 柔整療養費月報データの分析

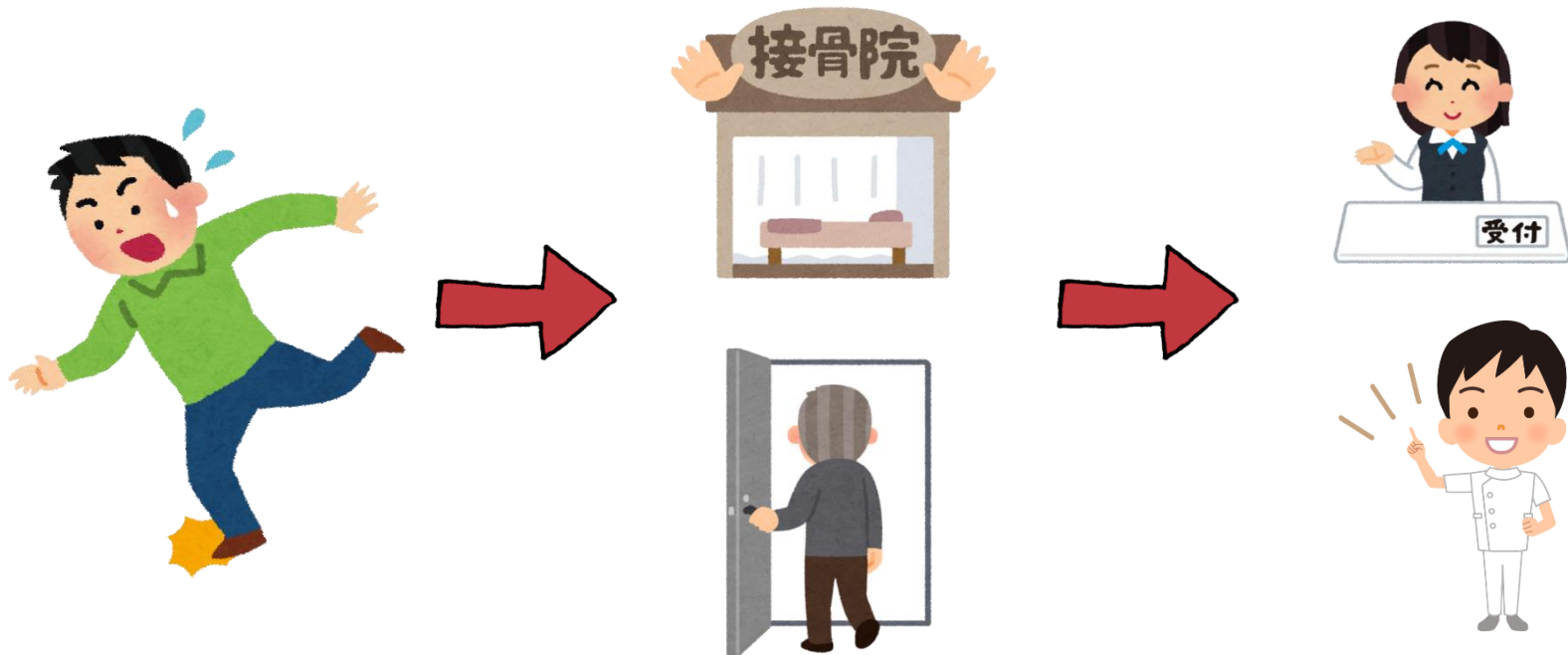
研究会メンバーだけではなく、推進する会の他の健保も対象として調査を実施。(75健保)担当者の負荷にならないよう、月報で報告しているデータのみを報告してもらい、受療率や1件あたりの単価等の分析を実施し、自健保の立ち位置を確認した。

内容については[全国大会で発表](#)

令和4年度 柔整療養費平均データ集計																				
1件当たり単価順	研究会	研究会外	加入者数(人)			件数			金額(円)			1人当たり金額(円)			1件あたり金額(円)			受療率		
			本人	家族	計	本人件数	家族件数	計	本人金額	家族金額	計	本人	家族	計	本人	家族	計	本人	家族	計
1	A	○	2,298	647	2,945	16	2	18	50,784	9,162	59,946	22	14	20	1,881	2,283	1,909	0.7%	0.3%	0.6%
2	B	○	4,225	3,843	8,068	71	52	123	228,136	186,812	414,948	54	49	51	2,936	3,248	3,070	1.7%	1.4%	1.5%
3	C	○	571	324	895	12	3	15	37,990	8,788	46,778	67	27	52	3,093	3,366	3,165	2.1%	0.9%	1.7%
4	D	○	10,525	5,886	16,411	301	102	403	1,050,969	369,830	1,420,799	100	63	87	3,196	3,359	3,237	2.9%	1.7%	2.5%
5	E	○	3,587	3,441	7,028	43	36	79	137,665	120,253	257,918	38	35	37	3,260	3,400	3,317	1.2%	1.0%	1.1%
6	F	○	4,675	3,958	8,633	15	32	47	44,768	109,615	154,383	10	28	18	2,948	3,513	3,320	0.3%	0.8%	0.5%
7	G	○	3,625	2,217	5,842	32	19	51	101,015	79,199	180,214	28	36	31	2,486	3,880	3,353	0.9%	0.9%	0.9%
8	H	○	1,086	977	2,063	16	17	33	56,148	55,755	111,903	52	57	54	3,524	3,226	3,382	1.5%	1.7%	1.6%
9	I	○	8,392	1,953	10,345	210	31	241	720,085	109,985	830,070	86	57	80	3,428	3,468	3,441	2.5%	1.6%	2.3%
10	J	○	652	462	1,114	26	13	39	86,560	46,692	133,252	133	101	120	3,372	3,730	3,459	4.0%	2.8%	3.5%
11	K	●	4,503	2,214	6,717	28	11	39	97,074	38,341	135,415	22	17	20	3,391	3,454	3,463	0.6%	0.5%	0.6%
12	L	○	25,434	23,920	49,354	321	268	589	1,105,574	975,357	2,080,931	43	41	42	3,446	3,635	3,534	1.3%	1.1%	1.2%
13	M	○	120,261	108,723	228,984	2,241	1,608	3,849	8,701,363	6,353,332	15,054,695	72	58	66	3,558	3,622	3,585	1.9%	1.5%	1.7%
14	N	●	28,194	22,248	50,442	537	316	853	1,946,383	1,170,308	3,116,691	69	53	62	3,610	3,677	3,636	1.9%	1.4%	1.7%
15	O	○	88,325	85,281	173,606	1,818	1,427	3,245	6,425,950	5,383,034	11,808,984	73	63	68	3,533	3,770	3,637	2.1%	1.7%	1.9%

② 接骨院のかかり方(施術の流れ)の整理

ケガをして「接骨院」に通うことに…。
接骨院では具体的にどんな施術をするのでしょうか？
実際に「接骨院」を見学して、流れを整理しました。



「接骨院」での施術の流れ

※療養費適正化研究会外[®]

1. 予診票に症状を記入	2. 問診	3. 身体 の 検査	4. 施 術	5. 施術後の説明	6. 会 計
<p>「接骨院」では、まずは予診票(問診表)(※)に名前と住所、連絡先、症状についての記入をします。</p>	<p>予診票(問診表)(※)へ記入した内容をもとに、ケガの症状について詳しく話を聞かれます。</p>	<p>身体 の ハリ や 硬 さ、骨 格 の 歪 み、姿 勢 等 の チェック を 行 な い ま す。</p>	<p>主 な 施 術 方 法 と し て 挙 げ ら れ る の は、大 き く 分 け て ①「整 復 法 (揉 む・引 っ 張 る・伸 ば す)・②固 定 法 (安 静・冷 却・圧 迫・拳 上 等)・③後 療 法 (手 技・物 理・運 動 療 法)」の 3 種 類 で す。</p>	<p>施 術 の 終 了 後、再 度 身 体 の チェック。ま た、回 復 を さ ら に 早 め る た め の ア ド バ イ ス と し て、自 宅 で も で き る 運 動 や ス ト レ ッ チ、固 定 の 方 法 等 の 説 明 並 び に 今 後 の 施 術 計 画 に つ い て 説 明 が あ り ま す。</p>	<p>会 計 の 区 分 は ①健康 保 険 適 用 ②自 費 ③自 賠 責・労 災 保 険 ※回 数 券 販 売 (利 用)等 に は 十 分 気 を つ け て 下 さ い。保 険 適 用 施 術 に 回 数 券 利 用 は あ り ま せ ン。</p>
<p>症 状 に つ い て は ①い つ 頃 か ら 痛 む の か ②体 の ど の 部 分 に 症 状 が あ る の か ③ど の よ う な 時 に 痛 む の か …… 等 を 記 載 し ま す。</p>	<p>普 段 の 生 活 習 慣 や 等、ま た、使 用 し 治 療 の た め に 金 属 等 の 確 認 も あ り ま す。</p>			<p>接 骨 院 で 健 康 保 険 が 適 用 と な る の は、骨 折・脱 臼・捻 挫・挫 傷・打 撲 の、い ず れ か の 診 断 名 が 付 い た 時。骨 格 や 姿 勢 矯 正 を 目 的 と し た 施 術 は 自 費 メ ニ ュー。保 険 適 用 外 で す。</p>	
				<p>ド 健 保 奥 山 氏 人 の 許 可 を 得</p>	
<p>「接骨院」を利用することに制限はありませんが、痛みを根本から改善したい」「元気な身体を取り戻したい」等、慢性的な痛みに関する施術や慰安目的の施術は、保険適用外です。ケガの原因をしっかりと説明してください。→施術録にも記載されます。</p>	<p>同 一 期 間 に、同 一 医 療 機 関 (病 院) と の 利 用 (保 険) は 医 科 併 給 の 禁 止 と</p>				<p>な お、骨 折 と 脱 臼 に 関 し て は、医 師 か ら 「接 骨 院 で 施 術 を し て も 良 い」と い う 主 旨 の 許 可 が あ っ た 場 合 の み、健 康 保 険 を 使 っ た 施 術 を 受 け ら れ ま す。</p>
<p>「接骨院」によっては、受付時に保険証の提示を求められる場合があります。保険適用外での施術には保険証は必要ないので、注意してください。施術所側でも何が保険適用で何が保険適用外なのかの説明があります。</p>		<p>施 術 に あ た る の は 国 家 資 格 を 取 得 し た 柔 道 整 復 師 (施 術 者) で す。接 骨 院 の 場 合、3 年 間 の 専 門 課 程 を 経 て 柔 道 整 復 師 国 家 資 格 を 取 得 し た 者 だ け が、施 術 に あ た る こ と を 認 め ら れ て い ま す。</p>	<p>柔 道 整 復 師 は 国 家 資 格 の 1 つ で す が、医 師 の よ う に 医 療 行 為 を 行 う こ と は で き ま せ ン。薬 の 投 与 や レ ン ト ゲ ン 検 査、外 科 手 術 に よ る 治 療 は 認 め ら れ て い な い た め、施 術 で 対 応 で き る 症 状 も 限 ら れ て き ま す。手 術 を 伴 わ ない「非 観 血 的 行 為」に よ っ て、人 間 が 持 っ て い る 自 然 治 癒 力 を 高 め る と い う 技 術 な の で す。</p>		<p>受 療 委 任 払 い の 場 合、「療 養 費 支 給 申 請 書」(※) に サ イ ン が 必 要 で す。施 術 部 位・内 容・回 数 等 し っ か り 確 認 の 上 サ イ ン す る こ と が 必 要 で す。ま た 領 収 証 (明 細 書) (※) は 記 載 内 容 を 確 認 し ま し ょ う。 ※ 不 正 請 求 対 策 と な り ま す。</p>

③ 有識者の講演の実施

- ・外部点検会社による柔整療養費の最近の動向
- ・整形外科医から見た「柔道整復療養費」
(日本臨床整形外科学会 松本医師)
- ・「柔整・会破棄の広告ガイドライン策定に関する経緯と進捗状況について」(健康保険組合連合会)
- ・「戦後日本の医療保険制度改革をめぐる 政策知識の記録・継承・消失」(甲南大学法各部三谷准教授)

④ 研究会活動の発表関連

- ・保険者機能を推進する会全国大会 2023.11.22(水)
- ・日本臨床整形外科学会シンポジウム 2023.11.19(日)
「保険者から見た柔整・あはきの広告問題」

※上記内容について、「東京新聞」「メディカルトリビューン」紙に掲載あり。

7. 2024年度研究会活動計画

★2025年度以降の「研究会」のあり方を模索した活動とする。

⇒ 課題 ～ 過渡期の2024年度をどう進めるか？

- ・ 一定のテーマを探求・研究する方向性
- ・ 知識の拡大
- ・ 情報共有(他健保同行・状況の把握⇒自健保への展開)
- ・ リーダー、運営委員のあり方

【方向性】 ★開催回ごとに内容を変えたものにする。

★参加パターンを設定する

従来型

活動がひと月に1回であることから、各回毎に詰め込んだ内容となっていた。

1. 担当理事挨拶(理事会報告)
2. リーダー挨拶
3. 報告事項
4. 審議事項(調査・研究活動)
5. 情報交換
6. 講話

新たな進め方

各月単位でテーマ毎の開催とする。

1. 担当理事挨拶(理事会報告)
2. リーダー挨拶
3. 報告事項

(A) (B) 調査・研究活動

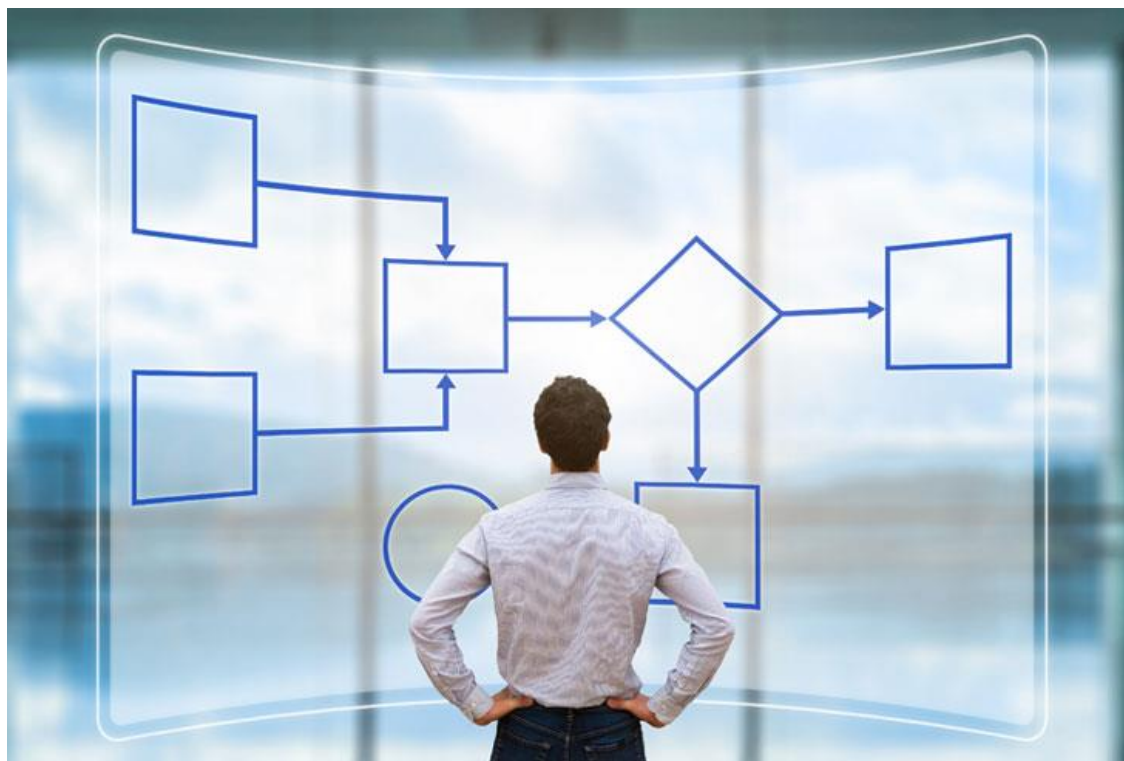
(C) 有識者講演
工場見学会・勉強会

(D) 情報交換

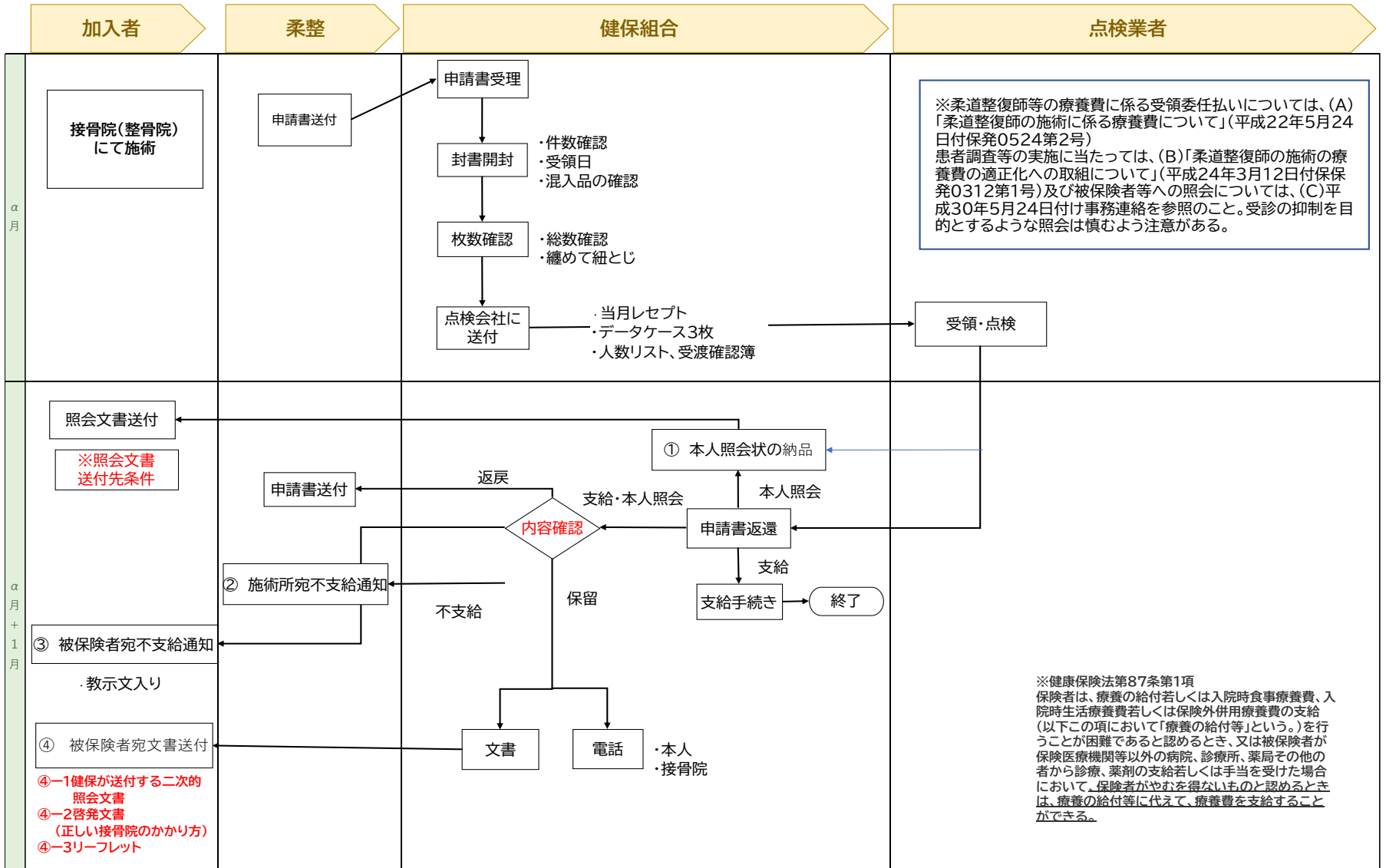
(A) 実務担当者の〔柔整療養費業務〕の流れの整理

～業務フローの整理と適正化活動のポイントの整理～

- 各健保で持つノウハウをデータベースとして構築し、共有できるツールにします。



(業務フロー)



α月

α月+1月

☛ 「照会文書」・「啓発文書」の作成

どのような内容のものをどのようなタイミングで発行・送付していますか？

点検会社に任せきりになっていないでしょうか？

※ 前年度からの継続課題



(B) 2023年度の柔整療養費データの調査・集計

～ 継続調査 ～

※ 前年度は75健保の協力

- ①1人当たりの価格(金額)
- ②受療率
- ③1件当たりの価格(金額)



(C) 有識者の講演の実施及び勉強会(工場見学会)

【予定】

- ①外部点検会社による療養費支給申請書のポイント説明
- ②大阪府柔道整復師会 徳永会長による講演
大阪社団での「柔整療養費の適正化活動」について
- ③明治国際医療大学鍼灸学部伊藤学部長による講演
「慢性疼痛に対する鍼治療、電子カルテの導入等」
- ④装具メーカー(川村義肢)の工場見学会&勉強会



(D) 情報共有

研究会参加健保による「情報交換」

(例)

- ・返戻、不支給事例やその判断基準の相談や悩み
- ・審査請求事例
- ・長期、頻回者に対する対応事例や悩みの相談
- ・自健保の適正化活動の発表 等々

年3回(8月・11月・1月)

※この情報共有回は、リーダー・運営委員ではない、メンバーが進行役となって、運営を進める予定です。

発表内容		チェック	健保名	
1	柔整・あはき・治療用具のいずれか		発表者	
2	審査請求・再審査請求事例		年月日	年 月 日
3	不支給事例			
4	返戻事例			
5	判断基準に関する相談			
6	照会内容・方法等に関する相談			
7	自健保の取組事例		※8.その他を選択した場合一具体的な内容を記載ください。	
8	その他			

概要

◆基本情報 (書ける範囲でお願いします)	
1	疾病名(負傷部位)
2	該当施術期間
3	問題とする期間
4	問題となったところ(きっかけになった違和感)
5	結果

◆経緯

研究会への参加スタイル【試行】

業務フローの整理・柔整療養のデータ整理	A・B
有識者の講演会	C①
装具の工場見学・勉強会	C②
情報交換	D

①	A+B+C①+C②+D	フルコース選択
②	A・Bのみ参加	実務向上コース
③	C①のみ参加	関連知識向上
④	C②のみ参加	装具特化
⑤	C①+C②	関連知識向上
⑥	Dのみ参加	事例研究・発表

療養費適正化研究会 2024年度活動スケジュール案

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
日時		5/9(木)	5/16(木)	6/20(木)	7/18(木)	8/22(木)	9/19(木)	10/17(木)	11/21(木)	12/19(木)	1/16(木)	3/13(木)
		14:00～ 16:30	14:00～ 16:30									
対面会場		推進する 会	(株)法研 会議室				大阪 川村義肢					(株)法研 会議室
ハイブリッド型	Teams		※懇親会									※反省会
		新規参加 者用オリ エンテー ション	自己紹介、 新年度活 動計画説 明									活動の振 り返り
情報共有 事例・相 談			進行役の 選定	△		●			●		●	
講話					点検会社 ①療養費 支給申請 書チェッ クポイン ト ②最新の 動向			大阪府柔 道整復師 会 徳山会長 大阪社団 の柔整療 養費適正 化活動に ついて		①明治国 際医療大 学伊藤学 部長 (鍼灸) ②バック テック福 谷CEO コラボ		
治療用装 具勉強会							●					
業務フ ロー				●		●			●		●	
月報デー タ			●	◎								

【参加条件】

- ハイブリッド型で研究会を開催しますが、参加出来る方は出来るだけ対面参加をしていただきたい
- 研究会は皆さん自身で作るものなので、積極的に参加・活動出来る方を求めます
- 本年度は「情報共有」を中心とした回では、リーダーではなく、参加メンバー皆さんに持ち回りで進行も発表も行っていただきます。他人の発表を聞くだけ・・・という方は参加をご遠慮ください。



管理職の皆様へのお願い

★上司(常務理事・事務長)の理解促進が必要です



「療養費の適正化」・「不支給」判断・通知
に対して担当者の思いや判断に耳を傾けていただき、
ご協力・決断をお願いします。また研究会の積極的な参加へ背
中を押してあげてください。

★相談しあえる仲間づくり



- ★情報交換
- ★悩みの共有
- ★他健保事例の把握

・不適切な療養費申請に対する「不支給」が適正に、かつ自信を持って出来る判断能力・知識のスキル向上を図っていきましょう！



★研究会メンバーを大いに利用しましょう



・参加される方にはぜひ意見を言ったり疑問を呈したりぜひ積極的にお願いします！研究会は皆さんの手作りです。楽しい時間を過ごしましょう(^ ^)

ご清聴ありがとうございました



研究会は皆さん一人一人の協力があって成立するものです。参加希望の方は、前向きな協力をよろしくお願いいたします。

私もリーダー7年目。今年でその役は終える予定ですので、鞭打って頑張ります(^^)

2025年度は・・・新しいリーダーでぜひ！

